学校番号	204

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	歴史総合　新訂版　（実教出版）						
副教材等	歴史総合　新訂版　演習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

18 世紀から現在までの 300 年にわたる近現代史のなかで、「世界とそのなかの日本」に焦点を当て、まず、世界と日本との深いつながりを学びます。18 世紀以降に展開された「近代化」、20 世紀以降の「大衆化」、そして２つの世界大戦を経たのちの「グローバル化」という３つの観点から着目し、現代社会とは何かという「問い」につなげていきます。

「歴史総合」は、過去のできごとを学ぶことを通じてこれらの疑問を探ること、つまり「私たちが生きる現代の世界は、どのようないきさつで今のような世界になったのか」という自分なりの「問い」をたてるという姿勢が大切です。教科書の地図・写真やスライドなどの資料から情報を読み取り、課題に対して自分の考えをまとめたり、周りの人たちと話しあったりして、「問い」に対する答えを導く姿勢が大切なのです。そして、自分の考えや意見を他者に伝える（アウトプット）ことをつうじて、自己の歴史認識を深め、課題解決力の伸長につなげることが目標です。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な市民としての資質・能力を、次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野において課題を主体的に追究し解決しようとする態度、ならびに日本だけでなく他国の文化も尊重する態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本社会を構成する市民としての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本社会を構成する一員としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編近代化と私たち	1.江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2.江戸時代の生産・流通と諸改革 3.イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 4.フランス革命とウィーン体制 5.イスラーム世界の拡大 6.アヘン戦争の衝撃と日本の開国 7.江戸幕府の滅亡 8.イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 9.明治政府の諸改革 10.自由民権運動と大日本帝国憲法 11.帝国主義の時代へ 12.日清戦争・日露戦争と東アジアの変動 13.日本の産業革命	a: 産業革命から日露戦争までの歴史を理解するとともに、資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b: 産業革命から日露戦争までの歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、構想したりする力や考察・構想したことを効果的に説明することができる。 c: 学習課題を自主的・主体的に追究・解決しようとする態度がみられ、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重しようとしている態度が身についている。	定期考査（中間・期末） 演習ノート	定期考査（中間・期末） 演習ノート	パフォーマンス課題 ワークシート 演習ノート

2学期	第2編国際秩序の変化や大衆化と私たち	14.第一次世界大戦 15.ロシア革命とソ連の成立 16.ヴェルサイユ体制とワシントン体制 17.アジアの民族運動 18.第一次世界大戦後の欧米諸国 19.世界恐慌 20.ファシズムの時代 21.満州事変と軍部の台頭 22.日中戦争と戦時体制 23.第二次世界大戦の勃発 24.第二次世界大戦の終結 25.国際連合の成立と冷戦 26.日本占領と日本国憲法 27.朝鮮戦争と日本	a: 第一次世界大戦から朝鮮戦争までの歴史を理解するとともに、資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b: 第一次世界大戦から朝鮮戦争までの歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、構想したりする力や考察・構想したことを効果的に説明することができる。 c: 学習課題を自主的・主体的に追究・解決しようとする態度がみられ、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重しようとしている態度が身についている。	定期考査（中間・期末） 演習ノート	定期考査（中間・期末） 演習ノート	フォーマス課題 ワークシート 演習ノート
3学期	第3編グローバル化と私たち	28.植民地の独立 29.米ソ両陣営の動揺 30.日本の国際社会復帰と高度経済成長 31.緊張緩和から冷戦の終結へ 32.日本の経済大国化 33.地域紛争と対立 34.国際秩序の変容	a: 冷戦から冷戦終結を経て国際秩序の変容がすすむ現代社会までを理解するとともに、資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b: 冷戦から冷戦終結を経て国際秩序の変容がすすむ現代社会までの歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、構想したりする力や考察・構想したことを効果的に説明することができる。 c: よりよい社会の実現を視野に学習課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重しようとしている。	定期考査（学年末） 演習ノート	定期考査（学年末） 演習ノート	フォーマス課題 ワークシート 演習ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度